HINO
日野療護園
フォーシーズン
Four Seasons
No.95
2022年5月25日 春号
東京都社会福祉事業団
発行／編集：日野療護園　〒191-0034　日野市落川245-1　Tel 042-593-2421 Fax 042-593-0075　E mail hinoryo@hinoryo.org　HP https://www.jigyodan.org/hino

西澤園長挨拶

ちょっと前に研修講師を生業としている方にお話を伺う機会があったのですが、その時こんなことを仰っていました。

「新型コロナウイルスの蔓延により令和２年の春先以降、予定されていた研修が次々とキャンセルとなってしまった。正に死活問題であるこの状況において、研修講師は大きく二極化した。一方は『こんな状況じゃ何もできない。コロナが沈静化するのを待つしかない』と嘆くだけで、何も手を打たなかったというパターン。もう一方は、『この状況で研修を開催する方法はないだろうか』と頭を切り替え、いち早くオンライン研修の形態を整えたというパターン。

結果、当然ながら後者の方に研修オファーが集中し、集合型の研修が少しずつ再開している現在でもその状況は続いている。前者のパターンの講師達もその後オンライン研修への切替を進めたものの、出遅れを取り戻すには至っていない模様」とのこと。

ちなみに、私がお話を伺った方は苦手なパソコンと悪戦苦闘しながら、どうにかオンライン研修の実施方法を会得したところ、これまで出向くことが難しかった地方の団体からもオンラインでの研修開催の依頼が届くようになるなど、以前よりも明らかに忙しくなったそうです。

この話を聞き、組織の長として自らのあるべき姿、進むべき道を改めて再確認した次第です。

今年度は事実上の“日野療護園ラストイヤー”となります。新施設開設の高揚感と日野の地を離れることへの一抹の寂しさを感じながら、移転建替えを円滑に進めるべく前向きに取り組んでまいります。

その推進力となってくれるであろう新規・転入職員を、今年もたくさん迎え入れました。皆、真摯に日々の業務に向き合ってくれています。日野療護園を、そして立川療護園はごろもの音を支える“人財”、大切に育てていきたいと思います。

最後に、長期に渡る面会や外出の自粛へのご協力、本当にありがとうございます。引き続き、その時々の状況を冷静に見極めながら、利用者様の安全・安心を第一に努めてまいります。

令和４年もどうぞよろしくお願いいたします。

園長　西澤　巧

新規・転入職員紹介

今年度は新規採用９名、転入４名の計１３名の皆さんを迎えました。一部リモート参加を織り交ぜながら３日間行われた導入研修では、最初は緊張していた表情も最終日には少し柔らかくなったように感じました。現在はそれぞれの担当業務に慣れるため皆さん日々奮闘中です。今年度は移転前の日野療護園ラストイヤーです。新規・転入職員の皆さんの今までの経験やフレッシュな意見を取り入れながら、職員一丸となって移転に取り組んでいきます。（記：管理グループ　小澤）

新規職員挨拶・抱負

新規職員のお二人のコメントを紹介します。

利用者様の目線になり、不安な事や嬉しい事など感じ取り、その場に適した対応をする難しさに日々苦戦していますが、利用者様の意向に添うことが出来た際には、とても嬉しく、やりがいを感じます。

まだ不安なことが沢山ありますが、優しく丁寧に教えて下さる先輩職員の方と共に、精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。　（福祉サービス第一グループ　清久　）

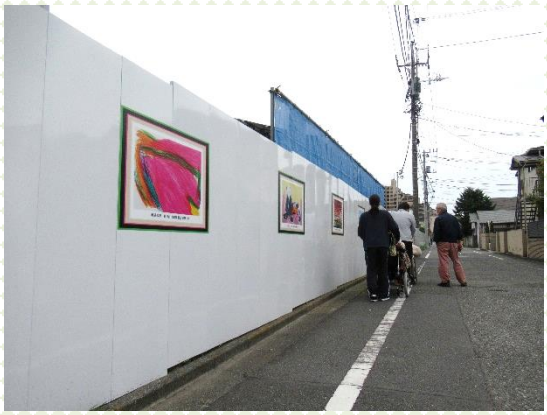
新社会人になり早いもので約２か月が経とうとしています。慣れない業務や、覚えられないことなど課題は幾つもありますが、できることが増えたことや、利用者様、先輩職員と楽しく話をできることに喜びを感じています。この先も新しく覚えることや、壁にぶつかることもあると思いますが、一人で突っ走っていかず、周りの先輩職員、時には利用者様を頼り、日々学び、成長していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。　（福祉サービス第二グループ　田中　）

移転先見学

日野療護園の作品 →

3月から4月にかけて、建替え移転地への見学外出を実施しました。利用者様と職員は現場敷地内に降りた後、周辺を見て回りました。そこでは大きなクレーン車やミキサー車が稼働している、今しか見ることのできない「立川療護園はごろもの音」の様子が垣間見えました。また現場のフェンスには日野療護園や他事業団施設のアート作品が展示され、建替え移転地を明るく彩っていました。利用者様と職員は、実際に現場を視に行くことで、あと1年に迫った建替え移転へより実感を沸かせていました。参加した皆様からは「ここから2階建ての建物ができるのが楽しみ」「工事が進んだらまた見に行きたい」といった声が聞かれました。見学は工事の進捗状況を踏まえ、再び実施を予定しています。

（記：事業推進グループ　児島）



新規利用者を募集しています。

＜通所＆短期入所のご利用＞

令和5年5月開設予定の「立川療護園　はごろもの音」では、新規の通所利用者及び短期入所者の希望を受け付け中です。ご利用を希望される方や検討中の方、ご相談のある方、お気軽にお問合せください。

＜移転先住所＞

〒190-0021　立川市羽衣町2－63

＊JR南武線「西国立駅」より徒歩8分

問い合わせ先　☎　042－593－2421　事業推進グループ　まで

クリスマス会・お正月

●園の冬から春にかけての行事・活動をお伝えします。

令和3年12月24日（金）規模や時間、ホールでの人数制限や外部の方への入園規制などを考慮しながら、ホールでは2年振りとなるクリスマス会を開催する事が出来ました。まだ全員集合とはいかず、グループ毎の2部制でしたがご利用者も職員もホールで活動出来る喜びがありました。各グループ1時間足らずの催しで、日々ストレスの溜まる生活の中で少しでも楽しんでいただこうと考えましたが、色々と課題も浮き彫りになったのも事実です。これらを活かして次回以降にはさらに良いクリスマス会を開催していきたいと思っています。

また、令和４年に入り、初めてのイベントになるお正月イベントを行いました。VRと福笑いを行い、ご利用者様・職員ともども今年初めての大笑いをし、今年１年の福を招きました。干支の寅をかたどった人文字も企画していましたが、あいにくの天候で見送りました。今後も楽しい行事を企画・開催出来たらなと思います。

（記：行事ボランティア部会）

～クリスマス会～

～お正月～

華道クラブ

２月１８日（金）・２４日（木）の２日間にわけて華道クラブを実施しました。今回の作品はサクラの形をした板にお花の飾りや人形、リボンなどの装飾を施しました。ボランティアの先生はご来園されず、職員とご利用者のみでの作業となりました。また、介護実習の方にもお手伝いしていただきました。一つ一つ丁寧に装飾する配置を確認しながらおこない、思い思いの作品になりました。皆様、大変喜ばれ、完成したものを居室に飾っていらっしゃいました。

（記：事業推進グループ）

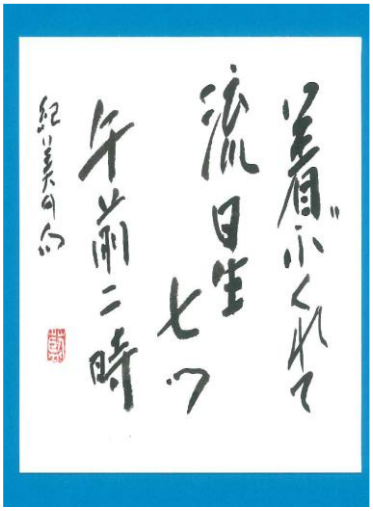
春のお茶会

３月２９日（火）に春のお茶会というイベントを開催しました。通所利用者様と入居者様をグループで分けて２部制で実施しました。今回の目玉は外部のボランティアさんにオンラインで歌を披露してもらったことです。感染症対策のため、アンコールや大声での会話などは控えさせていただきましたが、ボランティアさんのきれいな歌声やカラオケでは味わえない歌唱表現に圧倒されるばかりで、皆様静かに歌を聴かれていました。また、今回もVRゴーグルを使用し、お花見等の動画を鑑賞されました。希望者が多く時間も限られていましたが、日常では体験できないことなので、とても楽しまれていました。最後に少しばかりですがノンアルコールでこめ麹を使用したあま酒を振る舞い、ゆっくりとしたひと時を過ごされました。

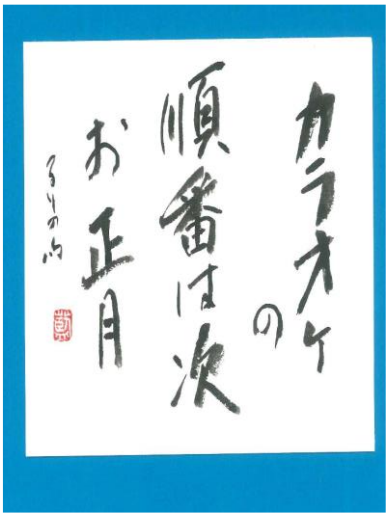
（記：行事担当　田中）

俳句クラブ（木の実の会）

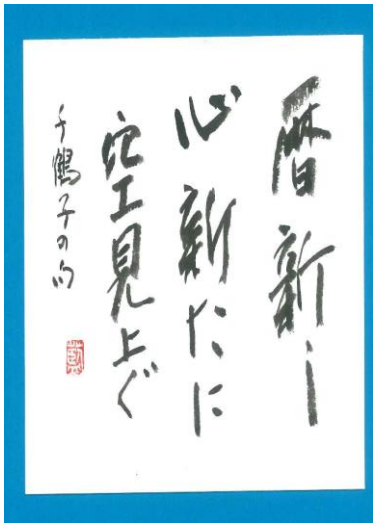
がりがりと
夜更けて凍雪
掻いてをり
明子の句



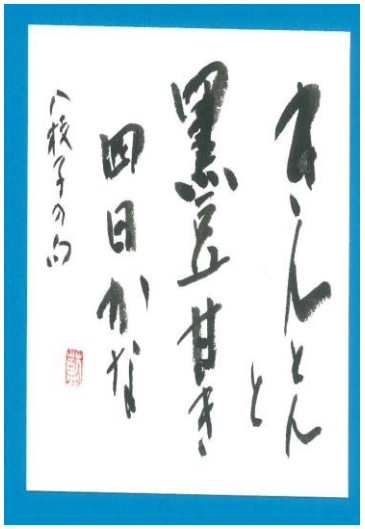
着ぶくれて
流星七つ
午前二時
紀美の句



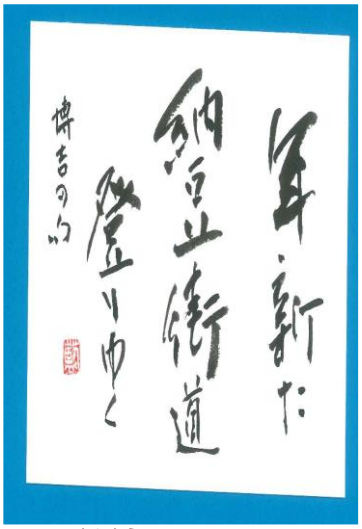
カラオケの
順番は次
お正月
るりの句



暦新し
心新たに
空見上ぐ
千鶴子の句



きんとんと
黒豆甘き
四日かな
八枝子の句



年新た
納豆街道
登りゆく
博吉の句

編集後記

年末から年始にかけてご利用者様が限られた環境の中で楽しみを持って過ごしてもらうよう様々なイベントを企画し実施いたしました。来年の移転に向け、日野療護園での残りの日数を大切に過ごし充実した１年になるよう模索・実現していきたいです。

（記：田中）